

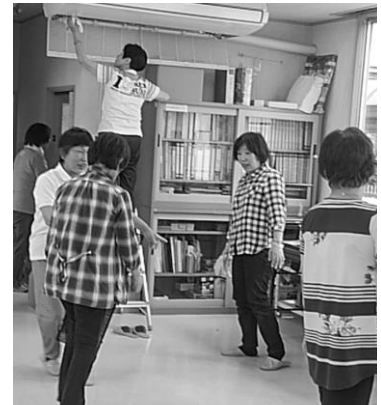
ザ・ボル -The VOL-

No.72 (2018年3月22日発行)

河内長野市ボランティア連絡会
編集と発行 広報部会

平成29年度 ボランティア連絡会の活動をふりかえって

- ・9月19日 交流会『市町 diary』にて開催しました。(参加人数36名)



- ・年2回の大掃除、みんなで頑張りました。
- ・字幕付き映画を2回上映しました。

11月14日 『武士の一分』

3月12日 『美女と野獣』

錦溪苑にて、上映致しました。



これからも字幕上映会を、続けて行きますので、ご参加お願いします。

(かわちながの字幕サークル)

第18回ボランティア・市民活動フェスティバル

- ・ボランティア・フェスティバルが、2月25日(日)、第1会場キックス、第2会場河内長野ガス、第3会場るーぷらぎで開催されました。

私はるーぷらぎで今年から始めた、ボランティア体験(車椅子体験)を担当させていただきました。大人22名、子供11名の方が体験してくれました。特に親子で体験してくれて、とてもあたたかいふれあいがあったことを、とても嬉しく思います。

(パレアナグループ 中畔美代子)



- ・ボランティアフェスティバルに参加して

いきいき情報誌のクラブ員として初めて参加し、何をすれば良いかよく分からないままに連絡会のブースに立ちました。まず感じたのは、スタンプラリーの判をもらう為に多くの方が来られていた事でした。

連絡会の展示を見ていただける機会を最大限利用するには、連絡会のチラシを配布してもいいのではないかと感じました。私たちは情報誌と編集ボランティア募集のチラシを配りました。効果のほどは?ボラ連のブースに立ち寄って下さった方々との出会いもあり「有意義な一日」を過ごすことが出来ました。

(いきいき情報誌 松下朝子・有賀登紀子)

平成29年度 大阪府市町村ボランティア連絡会 研修交流会に参加して

平野 裕子（音訳サークルあい）

・平成30年2月19日 大阪社会福祉指導センターにて

当日の参加者は、北摂・河北・河南・泉州・大阪市の各地域から116名で、13時から1時間余り、和泉市の和泉ボランティア・市民活動センター、寝屋川市の疑似体験ボランティアグループうらしまさん、茨木市の耳原地区福祉委員会、柏原市の精神保健ボランティアかしわら野の花の4団体による活動発表が有りました。

*和泉市は、近年駅前開発が進み、若い世代が増加。それまで高齢化する利用者やボランティアの課題を抱えていたが、付近の大学のボランティア団体との協働で、若い親子に向けて参加利用の促進に取り組んだ。さらに障がい者レストランとも、共に活動の輪を広げ、それぞれの特性を生かして地域ぐるみの活動をされている。

*寝屋川市の疑似体験グループでは、年間30回以上市内の小中学校や市に出向き、学生や職員にアイマスク体験や車椅子などの疑似体験をしてもらい、ハンディの有る方に対する気づきと思いやりの心を育てる活動をされている。

*茨木市の耳原地区福祉委員会では、旧自治会館を改造して「子民家よってこ」を立ち上げてカフェや食堂を開き、大学生も参加して子どもの居場所づくりに取り組んでいる。さらに対象を高校生にまで広げようとされている。

*柏原市の精神保健ボランティア野の花は、平成11年設立で、市主催のこころの健康講座で学んだ方々が、市障がい福祉課・地域生活支援センター・授産所・ピア・社協などに関わり、精神障害者の方々の支えと、当事者への理解を広めるために研鑽を重ねておられる。

*活動発表の後のグループ討議では、高齢者大学同窓会、給食ボランティアなど等、多様な活動団体の方との交流を持った。高石市の有償ボランティア「町の便利屋さん」の活動は、難しい課題をたくさんクリアーしなければならないが、これからの地域コミュニティには必要なものだと感じた。



〈字幕付き映画鑑賞会〉

3月13日(火)午後1時～「字幕付き映画鑑賞会」が錦溪苑で開催され、15名の参加がありました。

[美女と野獣] …ディズニーの実写映画で私は初めて見ました。

字幕は大きくはっきりと見やすく、映像画面の下に別枠で表示されているので、生の映像がそのまま伝わってきて良かったと思いました。又、ミュージカル映画だから初めから終わりまで流れる歌(詩)でストーリーが進みますが、この歌詞の字幕も、日本語吹き替え通りそのまま丁寧に付けられているのにも驚きました。



耳の不自由な方だけではなく、高齢者や耳の聞こえる方たちも一緒に、みんなで楽しめる映画に仕上げてくださいました「かわちながの字幕サークル」の皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。

(手話サークル さくらんぼ 村上美代子)

〈この1年を振り返って〉

ボランティア担当 柏木 龍二

この1年を振り返ってみると、担当1年目の私にとって、あつという間でした。初めは、右も左も分かりませんでした。が無事に1年間やり終えることができたのも、皆さまに支えていただけたおかげだと感謝しております。

世話人会や交流会、映画サロンにおきましても、様々なアイデアを持ち寄り、役割を考え、活動されている光景を見て、組織力やつながりの強さを感じました。

また、2月に開催されたボランティア・市民活動フェスティバルにおきましては、展示ブースだけでなく、車イス体験コーナーの新たな取り組みも行いました。

ボランティア・市民活動フェスティバル検討委員会で、「こどもたちに福祉器具のことを知ってもらおう！」というアイデアが出され、ボランティア連絡会で提案させていただいたところ、「一緒にやりましょう！」と言っただけだったときは、鮮明に覚えています。

これからも、皆さまとともに考え、ボランティア連絡会の活動を盛り上げたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

《企画部会》

今年度は、世話人会の皆様の協力により企画会議を進めました。9月に「市町 diary」をお借りして交流会を開催することができました。日ごろ交流がなかなかできない各サークル同士の交流ができたとの声もあり、楽しい1日だったと思います。

又、各サークルの協力により年2回の大掃除もできて良かったです。

字幕付き映画会も2回開催することができました。ご協力ありがとうございました。

(企画部会一同)

《広報部会》

ザ・ボル発行にあたっては、ボラ連代表さんを始め、世話人会の皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。今年は、「市町 diary」で交流会を持つことができ、それがプチボル発行につながりました。

これからも、読みやすく親しみやすい紙面作りを目指して、知恵を出し合いたいと思います。

よろしくお願ひします。

(広報部会一同)

平成29年度 活動報告

年	月	日	活動内容	場所
H29	4	11	世話人会	ボランティアセンター
	5	2	総会・全体会	ボランティアセンター
	5	22	新旧世話人歓送迎会	南喜久
	5	31	大阪府市町村ボランティア連絡会総会（3名）	大阪社会福祉指導センター
	6	6	ボランティアセンター大掃除（21名） 世話人会	ボランティアセンター
	7	4	世話人会	ボランティアセンター
	7	4	広報誌 ザ・ボル70号発行	
	8	1	世話人会	ボランティアセンター
	9	5	世話人会	ボランティアセンター
	9	11	大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会（3名）	SAYAKAホール
	9	19	ボランティア連絡会交流会（36名） （食事作り、会食、落語、紙芝居）	市町ダイアリー
	10	2	共同募金街頭募金活動	市内7か所
	10	3	世話人会	ボランティアセンター
	10	25	広報誌 プチ・ボル6号発行	
	11	14	字幕付き映画鑑賞会「武士の一分」（12名）	錦溪苑
	11	21	ボランティアセンター大掃除（20名） 世話人会	ボランティアセンター
	11	30	大阪府市町村ボランティア連絡会 「テーマ別研修会」（2名）	大阪社会福祉指導センター
	12	5	全体会	ボランティアセンター
	12	14	広報誌 ザ・ボル71号発行	
H30	1	9	世話人会	ボランティアセンター
	2	6	世話人会	ボランティアセンター
	2	19	大阪府市町村ボランティア連絡会 代表者会議、研修交流会（3名）	大阪社会福祉指導センター
	2	25	第18回ボランティア市民活動フェスティバル （11サークル活動内容紹介等）	キックス、るーぷらざ、 河内長野ガス
	3	6	世話人会	ボランティアセンター
	3	13	字幕付き映画鑑賞会「美女と野獣」（15名）	錦溪苑
	3	30	広報誌 ザ・ボル72号発行	

編集後記 (広報部 副部長 須田まゆみ)

今年は、広報部員9名の協力、ボル3回・プチボルも発行できました。1年間、部員同士明るく楽しい活動ができました。ありがとうございました。

